

災害実動機関の訓練による実証

～X-ICSを用いた実動機関同士の情報共有～

○災害実動機関（陸上自衛隊）における大規模な災害対応訓練での利用

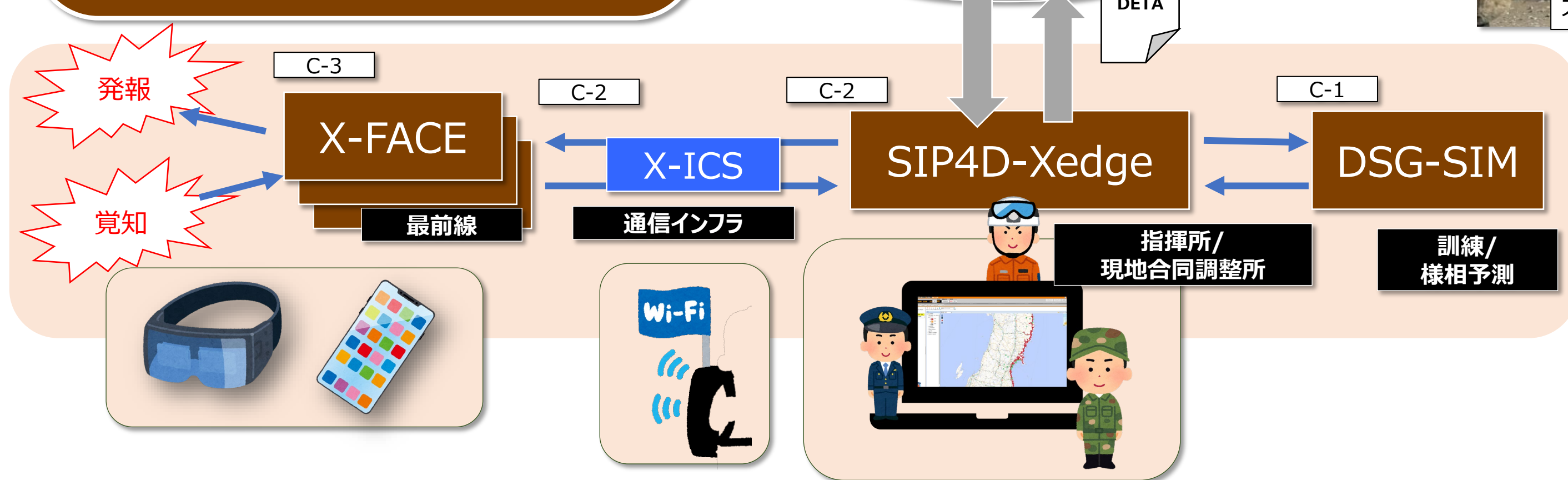
- ・通信途絶下において、**X-FACE（最前線システム）**で捉えた情報を**X-ICSでバケツリレーし、SIP4Dへ共有**
- ・クラウドで解析した津波遡上予測結果＋隊員の位置情報から、**二次災害防止アラート**を隊員へ発報



被害推計情報
(サブ課題A)

津波予測情報
(サブ課題E-1-2)

実動機関の情報共有システム
(サブ課題C)



みちのくALERT2024@宮城県石巻市 (2024年11月16-17日)

主催：陸上自衛隊東北方面隊
協力機関：陸上自衛隊教育訓練研究本部、
防災科学技術研究所、ATR、エーアイ、
芝浦工大、東北大など

○ローカル5G、ドローン等（UAV、UGV）を活用した訓練における実証

UAV: Unmanned Aerial Vehicle,
UGV: Unmanned Ground Vehicle

- ・車両、ドローン等（UAV、UGV）に搭載可能な小型・軽量のX-ICSを開発し、通信途絶下においてドローン等が移動することで、離れた**活動現場と現地合同調整所間で情報共有を実現**
- ・ローカル5G基地局とも接続し、**ローカル5Gを用いたX-ICS同士の接続・データ同期、共有も実現**

仙台駐屯地における合同実証（2025年7月14-15日）

訓練参加機関：陸上自衛隊東北方面隊、陸上自衛隊教育訓練研究本部、仙台市消防局、黒川地域消防、仙台市立病院、宮城DMAT
協力機関：SIPサブ課題C（防災科研、ATR、エーアイ）、NECネットエスアイ、パナソニック、イームズ・ロボティクス等

